

財政状況等一覧表（平成18年度）

(百万円)

団体名 島本町

標準財政規模 (A)	臨時財政対策 債発行可能額 (B)	合計 (A) + (B)
5,723	325	6,048

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの 繰入金	備考
一般会計	12,477	12,442	36	21	13,938	38	基金から180百万円繰入
土地取得事業 特別会計	0	0	0	0	0	0	
大沢地区特設水道 施設事業特別会計	7	7	0	0	0	7	
交通傷害補償 特別会計	7	6	1	1	0	0	
財産区特別会計 (5財産区合計)	194	5	189	189	0	0	
普通会計	11,014	10,979	35	21	13,938	17	基金から180百万円繰入

(注) 端数処理の関係で歳入・歳出と形式収支等が一致しないことがある。

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの）

(百万円, %)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	<法適用以外> 形式収支	純損益 (実質収支)	企業債(地方 債)現在高	他会計からの 繰入金	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
水道事業会計	627	558	-	69	122	1	112.5	-	-	法適用企業
公共下水道事業 特別会計	(歳入) 1,192	(歳出) 1,184	9	(実質収支) 9	8,479	640	-	-	-	
うち公共下水道事業分	(歳入) 1,170	(歳出) 1,162	9	(実質収支) 9	8,253	619	-	-	-	
うち特定環境保全公共 下水道事業分	(歳入) 22	(歳出) 22	0	(実質収支) 0	226	21	-	-	-	
国民健康保険事業 特別会計	(歳入) 2,392	(歳出) 2,331	62	(実質収支) 62	0	178	-	-	-	基金から60百万円繰入
老人保健 特別会計	(歳入) 2,103	(歳出) 2,120	16	(実質収支) 16	0	155	-	-	-	
介護保険事業 特別会計	(歳入) 1,320	(歳出) 1,197	123	(実質収支) 117	0	242	-	-	-	基金から3百万円繰入

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。

2. 法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示している。

3. 不良債務及び累積欠損金は、正数で表示している。

4. 端数処理の関係で、総収益・総費用と純損益(歳入・歳出と形式収支)が一致しないことがある。

3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円, %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	<法適用以外> 形式収支	実質収支 (純損益)	地方債(企業 債)現在高	当該団体の負 担金割合	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
淀川右岸水防 事務組合	177	163	14	14	0	1.1	-	-	-	
安威川・淀川右岸 流域下水道組合	4,427	4,224	203	91	0	3.0	-	-	-	
大阪府後期高齢者 医療広域連合	154	141	13	13	0	0.4	-	-	-	

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	備考
大阪府 三島救急医療センター	250	1,783	0	36	50	-	4	財団法人

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額(新公益法人会計基準に移行している民法法人については当期経常増減額)を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.81	実質収支比率	0.4%
実質公債費比率	14.7%	経常収支比率	104.8%

(注) 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3カ年平均である。